



札幌市 生物多様性 レポート

『令和元年度』

Biodiversity Report in Sapporo-city

目次

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
札幌市の取組	3
札幌市の取組一覧	9
コラム～生物多様性の基礎知識～	15
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	16

札幌市





札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。

札幌市生物多様性レポートでは、平成30年度の取組について報告します。

生物多様性さっぽろビジョンの概要

私たちが暮らす札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されていますが、都市化に伴う生息・生育環境の縮小などにより、生物多様性が失われることが心配されています。

そのため、札幌市では生物多様性の保全に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。

「生物多様性さっぽろビジョン」の体系図





札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

生物多様性の保全

生物多様性推進事業（環境共生担当課 TEL 011-211-2879）

まちなか生き物活動



「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、特にまちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な提案者に業務を委託し、実施しました。

平成30年度は、保全業務として「さっぽろのサケが命をつなぐ川づくり～して、みて、まもる～」(札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP))、啓発業務として「エゾシカに関する普及啓発イベント」(特定非営利活動法人エゾシカネット)を実施しました。

「さっぽろのサケが命をつなぐ川づくり～して、みて、まもる～」では、豊平川で自然産卵するサケ(野生サケ)を題材の一つとして、生物多様性保全の重要性を広く市民に普及・啓発することを目的とし、市民参加型の野外観察・体験学習会、市民フォーラムを実施し、延べ211名が参加しました。また、サケの産卵環境改善活動では、豊平川においても、川の水が流れなくなり、砂泥が堆積してしまった場所や、川底が固まりサケが川底の礫を動かせなくなってしまった場所の環境改善を行うことで、サケの産卵環境の回復を試みました。活動を実施した地点では産卵が確認されました。

「エゾシカに関する普及啓発イベント」では、エゾシカの有効活用をきっかけに生き物や環境に対する関心や理解を深めてもらうことを目的として、生き物調査体験、自然観察会、生物多様性・環境保全関連事業を実施し、延べ215名が参加しました。普及啓発イベントでは、専門家の指導の下、シカ肉を使った食育教室やシカ角を使った作品の作成などを行いました。



▲エゾシカに関する普及啓発イベントの様子



▲野外観察・体験学習会



▲サケの産卵環境改善活動



▲市民フォーラム



▲札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP)の活動の様子

<http://www.city.sapporo.jp/kankyobiodiversity/machinaka.html>



※理解・協働・継承・活用は、「生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)」の4つの施策に対応しています。



さっぽろ生き物さがし2018

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成30年5月20日～8月20日にかけて、「さっぽろ生き物さがし2018」を行いました。「さっぽろ生き物さがし2018」は、札幌らしい自然環境に生息・生育する代表的な動植物である「指標種」のうち、野鳥、カエル、春や初夏にさく花、マルハナバチ、チョウ、トンボの6つのグループについて、市内の生息・生育状況を調べるものです。参加した皆さんには、確認した生き物について、見つけた場所や日時を報告していただきました。

調査には、105チーム537名が参加し、総データ数は2,675件になりました。調査した地区数は226地区(1km四方の単位)で、札幌市の19%にあたります。また、平成30年度からは、札幌市動植物データベースを活用することで、これまでの報告方法(メール、ファックス、郵送)に加えて、ホームページからの報告も新たに受け付けました。

調査によって得られた結果は、対象の生き物ごとに、見つけた環境や季節について整理し、参加者の皆さんから寄せられた写真とともにニュースレター形式でまとめました。また、結果をもとに作成した「分布マップ」や、参加者が撮影した写真を展示するパネル展も開催しました。



写真コンテスト作品



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/30chosa.html>

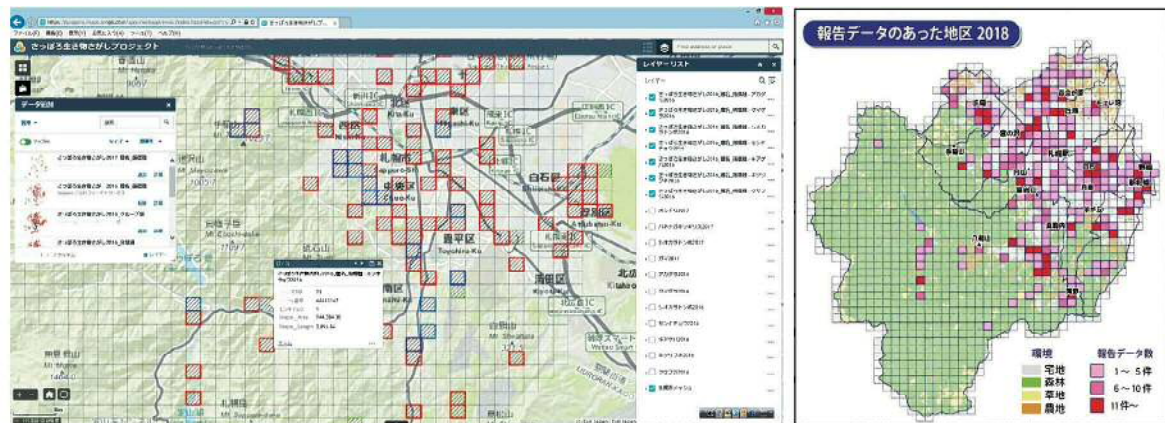
さっぽろ生き物さがしプロジェクトについて

「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」は、平成25年度から開催している市民参加型の生き物調査で、平成28年度からは、森林や草地、水辺等の自然環境の指標となる生き物である「指標種」を調査対象としています。参加者の皆さんから寄せられた結果については、毎年蓄積し、市内の自然環境の変化の把握に活用しています。

平成29年度には、さっぽろ生き物さがしプロジェクトの結果を含めた市内の動植物の生息・生育情報や、文献情報を管理する「札幌市動植物データベース」とWebマップアプリケーションを構築し、さっぽろ生き物さがし2016～2017の結果を公表しています。平成30年度の「さっぽろ生き物さがし」では、ホームページからも結果の報告を受け付け、その結果をWebマップにおいて公開しています。

マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト

<https://sapporo.maps.arcgis.com/apps/webappviewer/index.html?id=dd711eea1d4a4c1e893be91f9bf8a6e1>



▲マップで見るさっぽろ生き物さがしプロジェクト



さっぽろ生き物ミニ図鑑

理解 協働 継承 活用

さっぽろ生き物ミニ図鑑は、札幌の自然環境の状況を把握するために定められた指標種36種の生き物の姿や生態を通して、札幌市内の自然環境についての理解を深めることを目的として作成しました。指標種の指標とは、環境の良さを診断する「ものさし」となるもので、生息・生育状況を調べることで、その場所がどのような状況にあるのか、どう変化しつつあるのかを確認することができます。

さっぽろ生き物ミニ図鑑には、指標種等の動植物について、見分け方や生息環境の他に、札幌市内観察ポイントマップなどが掲載されており、生き物さがしに活用できるものとなっております。

さっぽろ生き物ミニ図鑑は、下記アドレスからもダウンロードできます。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/minizukan.html>



さっぽろ生き物ミニ図鑑

生物多様性パネル展

理解 協働 継承

生物多様性についての理解促進を図るため、市内各所で実施される環境関連イベントにて、パネル展示やリーフレットの配布を行いました。

平成30年5月	6月	9月	平成31年3月
“国際生物多様性の日”生物多様性パネル展 (市役所本庁舎1階ホール)	第22回北の都札幌ツーデーウォーク (中島公園) 水道フェスタ2018(札幌市水道記念館) 環境広場さっぽろ2018(札幌ドーム)	こまおか秋まつり (札幌市保養センター駒岡)	生き物図鑑展 生物多様性パネル展 (札幌駅前通地下歩行空間)



水道フェスタ2018



環境広場さっぽろ2018



生物多様性フォーラム

理解 協働

生物多様性を広く普及する取組の一環として、平成31年2月13日に札幌市民交流プラザにて、「生物多様性フォーラム」を開催しました。フォーラムには78名が参加し、写真家の中島宏章氏による「札幌のコウモリ」についての講演や、環境活動団体報告として、一般社団法人北海道自然保護協会、NPO法人北海道森林ボランティア協会、NPO法人札幌カラス研究会の3団体から活動結果についての報告が行われました。



▲「生物多様性フォーラム」ポスター



▲講演会

生物多様性リーフレット等の紹介

5ページで紹介した「さっぽろ生き物ミニ図鑑」以外にも、「生き物かるた」や生物多様性について解説したリーフレット等、下記アドレスからダウンロードできますので、ぜひご利用ください。

①生き物かるた・職員が考えた生物多様性かるた

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/karuta.html>

生き物かるた等を使用したかるた大会の開催
平成31年1月に「カッコー先生杯かるた大会」を開催しました。大会では、「生き物かるた」、「職員が考えた生物多様性かるた」、「さっぽろ自然かるた」を活用し、3人1組の16チーム48人によるトーナメント形式で行いました。



▲生き物かるた等を使用したかるた大会

②各種パンフレット

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/pamphlet.html>

・今、できることから始めよう!!

～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～

生物多様性を守るために今すぐできる行動をまとめたハンドブック



▲今、できることから始めよう!!
生物多様性さっぽろ実践ハンドブック

・札幌市版レッドリスト2016ガイドブック

札幌市に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物についてのリスト



▲札幌市版
レッドリスト2016
ガイドブック

・まもろう札幌の仲間たち。

「札幌市版レッドリスト2016」について、子ども向けにわかりやすく解説したハンドブック



▲まもろう札幌の仲間たち。



生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設（令和元年8月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

平成30年度は、18の施設を巡る「いきものつながりクイズラリー2018」を実施し、253名が参加しました。

また、平成30年度は新たな連携事業として、「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークバスツアー」を開催しました。バスツアーには、40名が参加し、札幌市環境プラザ、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市下水道科学館の3つの施設を巡り、各施設で体験や見学を行いました。



「いきものつながりクイズラリー」ポスター

活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、札幌市百合が原緑のセンター、サッポロさとらんど、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、札幌市平岡樹芸センター、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、札幌市滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山溪自然の村、札幌市動物管理センター

活動拠点における取組

●札幌市水道記念館

水道記念館は、藻岩山麓である中央区伏見4丁目に位置し、建物の背景には緑豊かな山々があり、前面には札幌の市街地を見渡すことができます。水源から都市、そして海へと向かう水の循環を、参加・体験型の展示物により館全体で表現しており、歴史的資料を展示した水道記念室やキッズルームを設置しているほか、隣接する藻岩浄水場の見学ツアーにも参加できるなど、大人から子どもまで、水道について楽しく学ぶことができる施設です。

また、天気の良い日には、前庭にある噴水広場でお弁当を食べたり、水遊びをして楽しむこともできます。

<http://www.swsa.jp/museum/>



▲水道記念館



水道記念館広場スペース▶

●札幌市保養センター駒岡

札幌市保養センター駒岡は、札幌市郊外に位置し緑豊かな自然に囲まれ、高齢者や障がい者の方々をはじめ、誰もがくつろげる保養センターです。主に日帰り入浴、宴会、宿泊などができ、教養講座なども開講しています。駒岡清掃工場で発生する余熱や電気の供給を受けて暖房や照明に使用しているととてもエコな施設です。地元の農家さんの新鮮野菜を販売する朝市や自然観察イベント、お祭り等で生物多様性の普及啓発活動を行っております。

<http://www.komaoka.com/>



▲札幌市保養センター駒岡



自然観察イベント▶



生物多様性さっぽろ応援宣言

理解 協働 継承 活用

札幌市では、平成27年9月より、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組をPRして、企業・団体のみなさまの取組を支援する制度、「生物多様性さっぽろ応援宣言」を開始しました。

令和元年7月現在で、87企業、24団体が登録しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/sengen.html>



宣言企業

87企業

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 赤帽 シェルパ ● 赤帽田中館運送店 ● (株)あづまや質店 ● (株)アドバコム ● (株)アミノアップ ● イオン北海道(株) ● 石上車輛(株) ● (株)エコ・サッポロ ● (株)エコニクス ● エコフィスジャパン(株) ● FRSコーポレーション(株) ● (株)FF ● (株)大庭組 ● 岸本産業(株) ● (株)キタデン ● 協友建設工業(株) ● クボタ環境サービス(株) 北海道支店 ● (株)熊谷組 北海道支店 ● (株)建設環境研究所 札幌支店 ● (株)建設技術研究所 北海道支店 ● (株)耕電設 札幌支店 ● ことばサポーターなぐね | <ul style="list-style-type: none"> ● (株)小林サイクル商会(オニクス札幌中央) ● (株)サジェコ ● (株)札幌今村電機 ● (一財)さっぽろ健康スポーツ財団 ● (公財)札幌市公園緑化協会 ● (株)さっぽろ自然調査館 ● 札幌大同印刷(株) ● (株)札幌ドーム ● (株)札幌リフォームセンター ● 三兼建設工業(株) ● システムサービス(株) ● 正電テクノ ● (株)昭和陶業 ● (株)水工技研 ● 鈴木総合住設 ● 生活協同組合コープさっぽろ ● (株)セイショウ ● (株)ゼタセグメント ● (株)セ・プラン ● (株)セブン-イレブン・ジャパン 北海道ゾーン ● (株)ソフトガーデン ● (株)大伴 | <ul style="list-style-type: none"> ● 大同舗道(株) ● (株)田中組 ● (株)長大 ● (株)ディスプレイセンター北創 ● デリシヤス(株) ● (株)東亜エンジニアリング ● (株)東急コミュニティー 北海道支店 ● (株)トーエイ ● (株)ドーコン ● 西松建設(株) 札幌支店 ● (株)日水コン 北海道支所 ● 日本航空(株) ● 日本信号(株) 北海道支店 ● 日本緑化工(株) ● (株)花の八幡屋 ● (株)日立ソリューションズ東日本 北海道支店 ● (株)プリプレス・センター ● (株)ホクスイ設計コンサル ● (株)北洋銀行 ● 北海コンノ急送(株) | <ul style="list-style-type: none"> ● (株)北海道アルバイト情報社 ● 北海道衛生工業(株) ● (株)北海道建設新聞社 ● 北海道トンボ(株) ● 北海道フーズ輸送(株) ● 丸昇 佐々木電気 ● 丸富テント工業(株) ● マルホン北英建設(株) ● マルミプラス(株) ● (株)ミスターブルー ● (株)宮田組石工 ● ムトウ建設工業(株) ● 明和工業(株) ● 森山泰志税理士事務所 ● 安田興業(株) ● 雪印種苗(株) ● 雪印メグミルク(株) ● ユニオンデーターシステム(株) ● (株)ユニコロン ● 横浜植木(株) 北海道支店 ● (株)リベース ● (株)ローソン |
|--|---|--|--|

宣言団体

24団体

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 旭山記念公園市民活動協議会 ● NPO法人エンジカネット ● NPO法人カラカネイトンポを守る会 -あいあい自然ネットワーク- ● NPO法人札幌歩こう会 ● NPO法人札幌カラス研究会 ● サッポロさとらんど | <ul style="list-style-type: none"> ● (公社)札幌消費者協会 「北海道エンジカ倶楽部」 ● 札幌市立定山溪中学校 ● 札幌南ふゆみずたんぼの会 ● 札幌ワイルドサーモンプロジェクト ● 食輪の会 ● 地縁団体 藤ヶ丘西町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 手稲さと川探検隊 ● 八紘学園 耕機科 ● 北海道希少生物調査会 ● 北海道グリーン購入ネットワーク ● 北海道自然観察協議会 ● (公財)北海道自然体験学習財団 ● NPO法人北海道シマフクロウの会 | <ul style="list-style-type: none"> ● NPO法人北海道森林ボランティア協会 ● 北海道ボランティア・レンジャー協議会 ● NPO法人ポロクル ● 簾舞国蝶オオムラサキ保存会 ● NPO法人藻岩山さきの観察会 |
|--|--|--|--|

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 北海道ゾーン <http://www.sej.co.jp/>



セブンイレブンは全道で1,000店を超えるお店を展開する中、地球環境保全を進めています。低炭素社会の実現の為に、北海道を中心に木造建築にて出店、間伐材の使用を進めるとともに、全店スマートセンサーを設置し、使用電力の見える化で節電に努めています。また、同時に緑の育成として、札幌大通公園の花壇の出展や、生物多様性保全活動として自然生態系を繋ぐ、霧多布湿原ナショナルトラスト運動を推進しております。

特定非営利活動法人北海道シマフクロウの会 <http://hokkaido-shimafukuro.org/>



シマフクロウは、日本では北海道にのみ生息する世界最大(体長70cm)のフクロウです。現在、165羽程度の生息が確認されるのみで、正に絶滅寸前の危機に晒されています。当会は、シマフクロウに関する情報収集・広報活動およびシマフクロウの保護に携わっている方々に対する支援を活動の目的としています。生物は一度絶滅すると二度と再生はできません。生物多様性の保全はまさしく喫緊の課題であり、シマフクロウはその象徴的存在とも言えます。

札幌市の取組一覧

P 3～8 で紹介した事例以外にも、札幌市では生物多様性の保全につながるさまざまな取組を行っています。

事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
市有地現地調査業務	市有地の適正管理のため、現地調査を委託。 現地確認時に特定外来生物(植物)が確認された場合は、種名及び生育範囲の図面への記載、写真を添付するよう管理。	理解 協働 継承 活用	財政局管財課
札幌の希少植物調査	札幌市レッドリストに掲載されている植物について生育調査や結実調査を行う「札幌の希少植物調査」を実施し、調査で確認できた植物について写真や位置情報の記録、資料を標準化。 調査結果についてはパネルや標本を用いて企画展示として市民へ広く周知。	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化部文化振興課 博物館担当
鳥獣被害防止 (特例外来生物の防除)	農作物被害防止の一環として捕獲された特定外来生物であるアライグマ等(アライグマ、カニクイアライグマ、アメリカミンク)について、「札幌市におけるアライグマ・カニクイアライグマ防除実施計画書」に基づき野外からの排除を目指し適正に処理。 http://www.city.sapporo.jp/nogyo/toretate/youjuuhigai/keikaku.html	理解 協働 継承 活用	経済観光局 農業支援センター
合併処理浄化槽普及促進事業	生活雑排水が未処理で周辺土壌や河川に放流されることを防止し、環境負荷の低減(河川水質の保全)を図るため、下水道事業計画区域外の住宅に対し、合併処理浄化槽の設置費及び維持管理費の一部補助による合併処理浄化槽の普及促進を実施。 http://www.city.sapporo.jp/seiso/haisui/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 事業廃棄物課
さっぽろ環境賞	「さっぽろ環境賞」は市民、事業者等の環境保全に関する意識の向上及び環境配慮活動のさらなる推進を図るため、札幌の豊かな環境の保全に貢献する個人、企業、団体を顕彰。 第10回表彰では、「市民・団体部門」5件、「企業部門」4件の、合計9件の応募の中から、選考委員会の選考を経て5件の受賞者を決定し、2月26日に表彰式を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/award/	理解 協働 継承 活用	環境局 エコエネルギー 推進課
さっぽろエコメンバー登録制度	「さっぽろエコメンバー登録制度」では、環境配慮取り組みの輪をさらに広げていくため、「生物多様性の保全に向けた取組・支援」など、環境に配慮した取組を行っている札幌市内の事業所を取組内容に応じた3段階の区分で登録し、その活動を紹介。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ecomember/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 エコエネルギー 推進課
野生鳥獣 (ヒグマ)の対応	札幌市におけるヒグマ対策のため、関係部署で札幌市ヒグマ対策委員会を組織し、当課で庶務を担当。 市街地周辺にヒグマが出没した際は、関係機関と連携を図り、出没状況に応じた対応・対策を実施。 平成29年3月に策定した「さっぽろヒグマ基本計画」に基づき、危機管理体制の整備など、出没時の対応を充実するとともに、被害を未然に防止するために、市街地侵入抑制策など総合的な対策を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生担当課
野生鳥獣 (エゾシカ)の対応	市街地の住宅密集地に出没したエゾシカについては、市民生活への被害を防止するため、関係機関等と連携を図り、追い払い・見守り・捕獲などの対応を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生担当課
野生鳥獣(ヒグマ、エゾシカを除く)の対応	「北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例」第1条による北海道からの権限移譲により、11種の野生鳥獣について鳥獣保護管理法に基づく「有害鳥獣駆除許可事務」を実施。このことにより市民と野生鳥獣とのトラブルの軽減を図り、適正な保護を実施。特に人間の生活圏と重なるカラスについては、繁殖期の親ガラスの威嚇行為の軽減を図るため毎年、「子ガラス捕獲放鳥業務」を専門業者に委託。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生担当課
特定外来生物 (アライグマ)の対応	適正な生態系の保全のため、外来生物法に基づく「北海道アライグマ防除実施計画」の一環で「札幌市におけるアライグマ防除実施計画」を策定。毎年、「アライグマ捕獲処理業務」を専門業者に委託。	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生担当課
環境影響評価事業 (環境アセスメント)	法及び市条例に基づく環境アセスメント手続の実施により、大規模開発等による自然環境等への影響について未然に回避又は低減を図り、もって生態系の保全など、生物多様性の保全に寄与。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生担当課
サケの遡上親魚捕獲及び産卵床調査	札幌市内の河川において定期的に調査を行っている。捕獲(産卵)場所・体長・採鱗・産卵床数等を記録し、遡上状況把握することにより、産卵環境の把握に努め、市民へ状況及び情報提供を実施。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
豊平川における野生さけの優先的保全活動への取組み	国や札幌市の生物多様性保全に関する指針・施策に沿った活動として、豊平川における野生さけの優先的保全を実施。市民団体「札幌ワイルドサーモンプロジェクト(以下、「swsp」と略します。)」と連携して、「順応的管理」の手法を豊平川のさけふ化放流事業に導入。 豊平川に放流するさけ稚魚に標識をつけ、親さけ遡上時に標識の有無を調べる調査を行い、野生魚と放流魚の割合を継続的にモニタリング・情報公開することにより、野生さけ保全を推進。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
大通花壇市民による花苗植え込み	大通公園にて、一般市民・企業・市民団体・小学生などが参加し、年に3回、花壇の花苗の植え込みを実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
外来種除去ボランティア	円山公園内に繁殖するゴボウ、イワミツバ等の外来種除去活動を市民ボランティアにより実施。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
環境負荷の軽減の取り組み	百合が原公園リリートレイン、作業機械の一部にバイオディーゼル混合燃料を使用し、二酸化炭素の排出量を軽減。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
クゲスマラン生息調査(豊平公園)	国内に自生するクゲスマランの生息状況について調査を実施。自生しているエリアの管理は生息個体を避けて草刈りを行うなど保全を推進。 https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
オオハンゴンソウ被度調査(豊平公園)	国内に分布する特定外来種オオハンゴンソウの生息状況について調査を実施。調査後は可能な限り駆除。 http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑化講習会の開催(豊平公園)	草花や果樹等に関する植物講習会を年間40回以上開催し、環境負荷の少ない栽培方法などについて普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
自然環境の保全	平岡公園におけるトノサマガエル(国内外来種)の生態・影響調査(平岡公園)	平岡公園の登録ボランティアである「平岡どんぐりの森」と「酪農学園大学」、「東海大学」との協働で平岡公園における国内外来種であるトノサマガエルの調査を実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	コガネムシの捕殺活動(平岡樹芸センター)	園内の樹木(オンコ)の害虫であるコガネムシが大量発生した場合、殺虫剤による一律駆除ではなく、公園ボランティアと共に捕殺による駆除を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	みどり資源の保全推進事業	市街地をとりまく森林や市街地に残された貴重な樹林地のうち、自然環境・景観及び防災上などの公益的機能上特に保全が必要な地域や、開発等により保全上支障をきたす地域を計画的に公有化し、保全を推進。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/index.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	市民の森事業	市街地を取り巻く一般民有林を自然のふれあいの場として、市民に開放するとともに、所有者の協力を得ながら将来にわたり良好な森林として、保全と活用を推進。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shiminnomori/index.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	さっぽろふるさとの森づくり森づくり体験ツアー	過年度植樹祭実施地において、下草刈りや下枝払いなどの育樹体験や自然と親しむためのレクリエーションのほか、工場見学により水源の大切さを知ってもらうためのイベントを実施。対象は市内小学4年生～6年生の親子。平成30年度参加者12組24名。	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	森林ボランティア	「都市環境林」、「市民の森」、「特別緑地保全地区」などにおいて、市民による積極的な森林保全活動を行う事業。現在、森林で草刈、間伐、枝打ち等の森林保全活動を行っている21団体が森林ボランティアとして登録しており、本市では資機材の提供・技術指導などの支援を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/volunteer/index.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	札幌水源の森づくり	札幌市の貴重な水源林である定山溪国有林の森林再生及び機能の維持・向上を図るとともに、市民と森林とのかかわりを深めることなどを目的として、平成16年より林野庁北海道森林管理局と共催で、市民参加のもとパイオブロック苗木(カミネッコ)を400個作成し、定山溪国有林への植樹を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/index.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	札幌市河川環境推進会議の開催	よりよい河川環境を保全・創出するため、札幌市河川環境推進会議を開催することで、「札幌市河川環境指針」の進捗状況を確認し、札幌の自然環境を考えた川づくりが行われているか、検証。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyoushishin/suisinkaigi.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	多自然川づくり	治水を目的とした河川改修にあたって良好な水辺空間を円滑かつ積極的に形成するため、河川が本来有している生物の良好な生育環境に配慮し、あわせて美しい自然景観を保全または創出する「多自然川づくり」を推進。	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	札幌市河川美化活動支援制度	札幌市の維持管理河川等において、河川等の愛護精神の高揚及び良好な河川環境が図られることを目的に、河川等の美化活動(清掃・草刈等)を実施する町内会・河川愛護団体・企業・NPO等の団体に対して、支援を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-04.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	札幌市河川モニター制度	河川監視の強化はもとより、市民の河川に対する関心を高めることを目的に、市民による河川愛護活動の活性化及び市民の観点による河川環境情報の収集を図る施策の一環として実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-01.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	河川水環境調査	下水処理水が河川環境へ与える影響を把握するため、各河川の環境基準達成に必要な、各水再生プラザの放流水質を調査。水再生プラザ上流・下流での付着珪藻・底生動物の生息状況を調査し、生態系に与える影響を評価。	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	下水処理施設の適切な運転管理	河川の環境基準達成のため、下水処理施設の適切な運転管理による放流水質の改善を継続して実施。 http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/02_shikumi02.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	特定外来生物(オオハングソウ)の防除	北区新琴似地区と屯田地区の間に位置するポプラ通り中央緑地(全長約2.1km)の自生植物(オオハングソウ、スマレ類等)を保全するため、地域住民団体(ポプラ通りを守る会)と協働でオオハングソウの防除作業を実施。	理解 協働 継承 活用	北区 維持管理課
	白石区まち美化プログラム	区内道路のボランティアによる清掃活動などの環境美化活動を支援し(実施団体に対し清掃用具の支給など)、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/katsudo/machibika/index.html	理解 協働 継承 活用	白石区 地域振興課
	清田区アダプトプログラム	地域団体や企業等による道路の清掃など、一定区画の公共の場所における継続的な環境美化活動に対し、行政がその活動を支援。(14団体参加) http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/adopt.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	川の美化事業	琴似発寒川と左股川の河畔約12kmにおいて、各連合町内会や地元の企業・団体等の有志により清掃を実施。平成2年に始まった事業で、毎年春(5月)と秋(9月)の2回行っており、平成30年度は春秋合計で3,362人が参加。	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
西区アダプトプログラム	地域住民や企業などの団体が、道路や公園などを自主的に清掃活動し、それに対し行政が清掃道具の提供、傷害保険の加入等さまざまな支援を行い、地域の活動をサポート。(44団体参加) http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課	
地域住民による野生生物保全事業	3公園に自生するスズラン、ミズバショウ、カタクリなどを、地域住民の手により保全する活動を推進。自然観察会のほか、専門家による帰化植物の抜き取り・ススキの刈り取りなどの作業指導も実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/dobokubu/kouenryokuka/hozenkatudou.html	理解 協働 継承 活用	手稲区 維持管理課	
自然体験	野外観察会・体験学習会	札幌の自然を核とした、植物や自然史に触れる野外観察会・体験学習会を実施。その一部は市民団体と連携し実施。(ぶらりネイチャー～初夏のお花ガイド～、植物標本作り、さのこウッチングなど)	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化部文化振興課博物館担当
	生物観察会の支援	川の生物観察会を支援することで地域住民や児童等に川に親しむ機会を提供し、生物多様性についても啓発を実施。 【環境対策課】 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyuu/index.html 【河川事業課】 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/seibutsukansatsukai.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課 ----- 下水道河川局 河川事業課
	さかなウォッチングの実施	北の沢川・琴似発寒川・星置川において、たも網を使用して、淡水魚等の水辺の生物を捕獲し、それぞれの種・生態・河川環境等を解説し、普及啓発を実施。参加者を募集する際は応募型とし、また、学校等の申込によるさかなウォッチングも可能な限り対応。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
自然体験	サケ観察会の実施	豊平川・琴似発寒川・星置川において、市民を対象にサケ観察会を実施し、遡上するサケやサクラマス等の生態や河川環境等を解説し、普及啓発を実施。参加者を募集する際は、琴似発寒川・星置川については、時間帯を決め自由参加型、豊平川については応募型(サーモンウォッチング)。また、学校等の申込による観察会も、可能な限り対応。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	中島Kidsガーデン	地域団体との共催で児童向け体験菜園を実施し、子ども達が楽しみながら植物や土に触れ学習できる場を提供する事業。苗の植え込みから管理作業、収穫、調理、まとめ新聞の作成まで、全19回の活動をおとして体験。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	鴨々川いきもの観察会	街中の川に暮らすいきものを観察し、生態について学ぶとともに、河川環境に対する美化意識の向上を図る事業。川に暮らすいきものを観察するため川の中に入り、網などを使用して水中生物を捕獲。捕獲した生物は専門家による解説のもと観察し、終了後放流。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	都会の野鳥観察会	都市部においても野鳥と親しむ機会を提供するとともに、野鳥の生態や接し方への理解を深める事業。専門家による解説を聞きながら園内を歩き野鳥を観察する。観察後は意見交換や質疑応答の時間を設け、さらなる理解の促進。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	円山公園探訪ツアー	円山公園内の植物や昆虫などを有識者が案内・解説し園内を散策。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	オリエンテーリング	百合が原公園にて、植物や公園をテーマにしたクイズを園内各所に設置し、利用者が回答しながら植物について学ぶことを目的とした、オリエンテーリングを開催。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	お散歩ガイド	百合が原公園にて、ガイドボランティアが園内や植物を説明しながらガイドを行い、季節毎の見どころを案内。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	サクラツアー	モエレ沼公園のサクラの森に咲くサクラを案内し、本州と比較してサクラの開花が遅い理由や、サクラの生育環境の説明をし、サクラを取り巻く自然環境を啓発。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	公園スタッフと歩く冬芽観察会	モエレ沼公園に生育している樹木の冬芽を観察し、自然が色々なバリエーションを持っていることについて啓発。また、同時に春の渡り鳥の観察や、冬から春に変わる季節の変化を公園で体験。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	ひらおか公園ツアー(平岡公園)	平岡公園の生き物や植物を中心とした自然観察イベント。各回毎に有識者を講師として招き、解説を聞きながら園内を散策。平成30年度は全6回開催。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	ながぐつ土よび(平岡公園)	平岡公園の生き物や植物を中心とした親子向けの自然体験イベント。平岡公園の登録ボランティアである「平岡どんぐりの森」との共催。平成30年度は全5回開催(当初予定は7回開催。雨天中止1回、台風・地震被害による中止1回) http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	平岡公園ツリーウォッチング(平岡公園)	平岡公園の植物や樹木を中心とした自然観察イベント。平岡公園の登録ボランティアである「平岡どんぐりの森」との共催。平成30年度は全4回開催。(当初予定は6回開催。台風・地震被害による中止2回) http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	ひらおか自然まるごと探検隊(平岡公園)	小学生向け自然体験イベント。毎回異なるテーマに沿って平岡公園の自然について学び体験。平成30年度は全3回開催。 1.生き物をさがせ(さかな編) 2.暗闇の中で生き物をさがせ 3.やってみよう!天気予報 4.生き物をさがせ(昆虫編)→台風・地震被害により中止 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	白旗山札幌ふれあいの森における自然観察会	白旗山ふれあいの森の中を自然観察案内人と一緒に歩いて、森の仕組みやおすめのポイントなどを学ぶ「自然観察会」を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shirahatayama/hureainomori/syousai1.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	鴨々川いきもの観察会	街中の川に暮らす生き物の観察、生態についての学習を通じて、河川環境に対する美化意識の向上を図ることを目的に、専門家によるいきもの観察会を鴨々川で実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu0901.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	月寒川にぎわい川まつり事業	子どもを中心とした地域の住民が、地域の自然や環境について考えるきっかけとなるよう、河川環境専門家の指導の下、月寒川に生息する動植物の観察体験を行うほか、水車などを使った発電実験や、カヌー、チューブ乗りなど、子どもが楽しめるようなプログラムを実施。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/kawamatsuri/index.html	理解 協働 継承 活用	白石区 地域振興課
	青葉中央公園ジャック(自然とふれあおう)	子どもたちが普段とは違った視点から自然を観察することで、自然に対する関心や愛着を高めてもらうことを目的として、ツリーング(ロープを使った木登り)を実施。また、地域住民と協働で青葉中央公園内の動植物を観察する自然観察会や「ホタル観察会」も実施。	理解 協働 継承 活用	厚別区青葉 まちづくりセンター・ 地域振興課
	ホタル観賞事業	ホタル育成のための環境整備や観賞会を通じて、区民に自然環境の保護・保全について関心を持ってもらおうと、NPO法人「札幌清田ホタルの会」の協力の下、ホタル幼虫放流式及びホタル観賞会を開催。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/hotaru/hotaru.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	白旗山自然探検隊	清田区のシンボルである「白旗山」において、自然に詳しい案内人と散策用歩道を歩きながら、植物・虫・鳥などの特徴や生態についての説明を受け、清田区のシンボル・白旗山の自然への理解を深めることを目的として実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiki-shinko/shirahatayama/tankental/tankental.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	琴似発寒川への稚魚放流事業	地域に身近な川を理解し自然に親しむため、各連合町内会が主体となり、西区内の琴似発寒川及び左股川6会場での稚魚30,000匹の放流を実施。平成2年に始まった事業で、平成30年度は、雨天により、1会場のみで実施し、38人が参加。	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	手稲の歴史や自然など、子どものまちづくりへの関心を高めるため、小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマに絵を募集し、アイデア作品を受賞した児童を対象に、手稲タンケンツアーを実施。探検先の一つである星観緑地で植物観察を実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/shimin/chiikishinkou/shougaku_yume.html	理解 協働 継承 活用	手稲区 地域振興課	
札幌市青少年山の家運営事業	登山、ハイキング、沢探検等の、施設周辺の自然環境を生かした野外活動プログラムを、施設利用団体に提供するとともに、活動の支援を行っている。また、市民を対象とした自然体験プログラムを実施している。 http://sapporo-yamanoie.jp/	理解 協働 継承 活用	教育委員会 生涯学習推進課	
札幌市定山溪自然の村運営事業	家族や小グループで利用できる市民開放型の野外教育施設として、定山溪自然の村を運営。コテージ、常設アプト、テントサイト(普通・特別)の施設があり、宿泊・日帰りの利用が可能。経験の浅い市民でも自然体験活動に親しめるよう活動を支援するほか、森づくり体験事業や、昆虫観察といった、自然と触れ合う事業を多数実施。 http://www.sj-naturevillage.jp/	理解 協働 継承 活用	教育委員会 生涯学習推進課	

事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
アイヌ文化交流センター運営事業	自然の恵みに感謝し、共存しながら暮らしていたアイヌ民族の伝統文化や自然観を、屋内外の様々な展示物などで紹介。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/index.html	理解 協働 継承 活用	市民文化局 アイヌ施策課
西岡公園調査報告展	(公財)札幌市公園緑化協会との連携事業として、同協会が主催する小学生による自然調査隊「ヤンマ団」と「さかな組」の2018年度調査報告展。小学生の視点による生物に関する多様な調査をパネルや新聞にし、来館者へ報告する形式で実施。	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化部文化振興課 博物館担当
植物に関する企画展示	平成30年度は「札幌の自然史でたどる植物のおなまえ展」と題し、札幌の自然環境の移り変わりや大きな出来事に沿って、それぞれの時代に関連する植物を標本やパネルで紹介。関連事業として植物に関する認識・関心を高めるため、学芸員による講演会を2回実施。	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化部文化振興課 博物館担当
デリバリー・ミュージアム	小学校に向き、学芸員による札幌や学校周辺の「自然の成り立ち」「植物の観察」等をテーマに、その土地における自然の移り変わりや、植物についてフィールドワークで実施し、児童に解説。	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化部文化振興課 博物館担当
どうぶつあいご教室	近年、核家族化が進み、一軒家よりも賃貸住宅で暮らす家族が増え、動物を飼いたくても飼えない状況が見られるなど、子どもたちが動物と触れ合う機会が少なくなっていることから、市内の幼稚園及び保育園を対象に、札幌市動物愛護推進員と協力し、犬との接し方などについての講話を実施。	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター
リードをつないで楽しくお散歩キャンペーン	犬の飼い主のマナー向上を目指し、大型公園など公の場所での犬の放し飼いをなくすために、「リードをつないで楽しくお散歩キャンペーン」と題して、全市を挙げてのキャンペーン事業を実施。併せて、公園散歩講座として、大規模公園にて飼い犬参加型のマナー教室を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/kouensanpo.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター
環境広場さっぽろ	事業者・市民団体・行政機関等がそれぞれの環境保全に関する取組のほか、環境技術や商品サービス等を発信、情報収集し、行動の実践に繋げる総合環境イベントを開催。イベント内では来場者に生物多様性に対する理解・関心を高めるための展示も実施。また、エコライフの実践は、発生する環境負荷(生物多様性の喪失の要因)を低減させることにつながるため、生物多様性の保全に寄与。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/hiroba/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
札幌市環境副教材	札幌市内の小学生を対象に、環境教育の推進を図ることを目的として「札幌市環境副教材」を作成し、札幌市内の小学校(新1・3・5年生)へ配付。 副教材には、地球温暖化による動植物への影響などを記載しており、生物多様性の保全に寄与。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
校外学習用バスの貸出	環境教育の推進のため、市立の小中学校を対象に、市内の清掃工場やごみ処理場、上下水道施設等環境関連施設見学用バスの無料貸出を実施。 なお、校外学習の参考となる14のモデルコースを作成しており、この中に円山動物園や豊平川さけ科学館で学ぶ「生物多様性について学ぶコース」を設定。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
環境教育へのクリック募金	環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、市内の小中学校へ「水の生き物観察セット」、「双眼美顕微鏡」など、生物多様性の保全を含む環境教育に関する教材を寄贈。 http://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
札幌市環境プラザ運営事業	札幌市における環境活動の拠点施設札幌市環境プラザ(指定管理者が管理運営し事業を実施)において、展示物を利用した環境教育の推進をはじめ、環境に関する講座等の開催、環境相談などを実施。また、市民の自主的な環境学習を支援するため、環境に係る各分野の専門家「環境保全アドバイザー」や自然観察会等の解説者「環境教育リーダー」の派遣を実施。 http://www.kankyo.sl-plaza.jp/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
小中学生向けエコライフレポート	子どもたちが継続してエコ行動(節電や省エネ等)を意識し、実践してもらうため、家庭内でできる身近なエコ行動を取り組みチェック表により実施することで、子どもたちの環境保全に対する意識を向上。節電などのエコ行動は、環境負荷(生物多様性の喪失の要因)を低減させることに繋がるため、生物多様性の保全に寄与。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
水辺の活動パネル展	河川など水辺での活動を広く市民に知ってもらうため、地下歩行空間において市内3か所の小学校が行った水辺での活動内容を紹介するパネル展を環境報告書展の一部として開催。 ・日時:平成31年3月1日(金)~3月5日(火) ・場所:地下歩行空間 北1条イベントスペース東 ・参加人数:13,391人(環境報告書展の来場者数) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jigyosha/houkokushoten.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課
環境教育プログラムの実施	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」において、自然の大切さと動物の魅力を伝える「教育」を基本理念に基づく重点取組項目とすることとしており、動物の生態や特徴、生物多様性等について考えるきっかけとなるよう、札幌市の環境教育の拠点として様々な環境教育プログラムを展開、実施。 ・ドキドキ体験(猛禽類のフリーフライト等)の実施 ・動物の生息地の環境問題、地球温暖化の影響等に関する出前講座、総合学習における講義及びガイドの実施 ・国内次世代エネルギー施設に係るガイドの実施 ・環境問題、外来生物飼育動物の放棄、密猟・密輸等に関する説明看板の設置 ・小学生向け環境教育教材の提供 ・動物園ボランティアによる動物ガイド http://www.city.sapporo.jp/zoo/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課
種の保存推進事業	都市の身近な生き物を含め、動物達のつながりについて知ることのできる講演会、観察会等を実施。 ・専門家による各分野の講演会(第1回ニホンザリガニ円山会議、コウモリ調査事業報告会等) ・外来生物展 ・コウモリ観察会 ・CISEサイエンスターニング http://www.city.sapporo.jp/zoo/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課
札幌の水辺の生物の飼育及びパネル展示	多種の淡水魚、甲殻類、両生類等を水槽で飼育及びパネル展示し、場合によっては実際に触れる機会を設けて、それぞれの種を解説して普及啓発を推進。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課

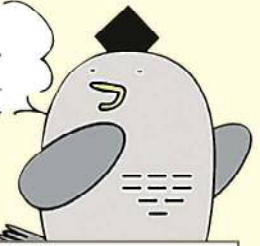
事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
外来生物の飼育及びパネル展示	外来生物を飼育及びパネル展示し、解説することにより、外来種が水辺の環境や在来生物にもたらす弊害の啓発を推進。 http://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
「知る・見る・カニさん、ザリガニさん」	札幌の川に生息している在来種の「モクズガニ」の生態と、近年札幌市内に定着してきている外来種の「アメリカザリガニ」が、どのような場所に生息し何が問題かをさわりながら学び、普及啓発を推進。 https://salmon-museum.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
フェアトレードフェスタの開催	大通公園にて、フェアトレードフェスタを開催しフェアトレード商品の普及啓発活動を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
創成川ライラック写真募集	創成川公園にて、ライラックの開花期に市民が撮影した園内のライラックの写真を募集し、HP・イベント等で展示発表。 http://www.sapporo-park.or.jp/sousei/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
たねダンゴで花壇を作る	大通公園にて、一般市民が参加し、たねダンゴによる花壇への種まきを実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
まるやま野生動物カフェ	身近な野生動物と人との関わり方を考えるトークイベントを実施。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
植物残差のリサイクルや環境教育	百合が原公園及び他の公園から発生する剪定枝、落ち葉、刈草、花柄等をチップ化、堆肥化し公園の花壇等に還元し環境負荷の軽減を実施。また、近隣小中学校等の公園を利用した環境学習、職場体験で普及啓発を実施。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑化講習会	百合が原公園にて、植物の育て方や花壇の作り方などの講習会を開催。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
展示会	百合が原公園緑のセンターでは、希少な植物や、同種の植物について多様な品種を並べるなど、様々な植物を展示。また、テーマを掲げた植物の展示会を定期的開催。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
花を楽しむミニ盆栽～サクラの巻～	モエレ沼公園のサクラの森で、盆栽に適した実生苗を掘り取ってミニ盆栽を製作。その際に実生苗がどのような環境で育っているのか、どのような樹木が盆栽に適しているのかを解説。また、実際に掘り取って根を観察したり、植え込みを行うことにより、樹木を知ってもらい、さらに樹木を育てることで札幌の四季のあり方や、植物がどのように育つのかを解説。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
木の葉でたたき染め体験会	モエレ沼公園に生育している草木の葉や花をそのまま使って布染め。植物をよく見ると、色々な色・形・硬さがあり、種類や生育環境によっても違いがみられることを知ってもらい、さらに布に染め付けることで、思ってもいなかった色になることなど、自然の意外性を解説。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
紅葉を楽しむミニ盆栽～紅葉～	モエレ沼公園のサクラの森で、紅葉する、盆栽に適した実生苗を掘り取ってミニ盆栽を製作。その際に実生苗がどのような環境で育っているのか、どのような樹木が盆栽に適しているのかを解説。また、実際に掘り取って根を観察したり、植え込みを行うことにより、樹木を知ってもらい、さらに樹木を育てることで札幌の四季のあり方や、植物がどのように育つのかを解説。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑の絵コンクール	(公財)札幌市公園緑化協会との共催による事業であり、市内の小・中学生を対象に自然の大切さや緑化に関する意識の高揚を図ることを目的に実施。 H30年度応募総数28校505点。 http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑と花のフォトコンテスト	(公財)札幌市公園緑化協会主催による事業であり、札幌市内の公園・緑地で撮影した、緑や花の魅力、美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した写真作品を募集。 H30年度応募総数528点。 http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
出前授業	将来を担う子どもたちを対象として出前授業を実施し、下水道が水環境の保全に果たす役割や大切さを重点的に伝え、情報発信を実施。	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 経営企画課
川の学習パネル展	市内小学校の川についての学習成果を展示することにより、市民の河川への関心・水環境保全の意識向上を促すこと等を目的としたパネル展を開催。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/panel/gakusyuu.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
河川事業パネル展	河川事業や川に棲む生き物等を紹介するパネル展を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/panel/gakusyuu.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
エコまち西区推進事業	○エコキッズ・プログラム(13回1,180人):川や公園等での自然体験教室 ○親子でエコキッズプログラム(2回50人):未就園児と保護者の自然体験教室 ○西区コモ自然学校(2回33人):区内の小学4年生を対象とした自然体験学習会 ○親子で環境満喫バスツアー(2回78人):親子で札幌市内の工場をめぐる、各施設の省エネやリサイクル等、環境に関する取組について学べるバスツアー ○西区こども環境広場(1,046人):ゲームや実験などの体験を通じて環境を学ぶ体験型環境イベント ○エコトーク映画会(311人):環境についての講演と映画上映会 ○使用済み廃食油の独自回収(15団体)など http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/kankyo-kyogikai/top.html	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
さっぽろ市民カレッジ	市民の自己充実や生きがいづくりを支援するとともに、学習した成果を地域社会の発展などにつなげることを目指して、生涯学習センターを拠点として、市民の多様な学習ニーズに対応する学習機会を提供。 平成30年度については、当該事業の中で、温暖化対策がホッキョクグマの住む環境や保全活動にどのようなつながっていくのかを知り、札幌市の今後の環境について考える「ホッキョクグマと考える環境問題」や、ミツバチの生態から身の回りの自然環境について考える「ミツバチがつくるサッポロ」といった自然環境や、生物との共生に関する講座を計6講座実施し、市民に自然環境について理解・関心を高める機会を提供。 http://chieria.slp.or.jp/	理解 協働 継承 活用	教育委員会 生涯学習推進課

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
地産地消	さっぽろ食スタイルの普及・啓発事業	第3次札幌市食育推進計画の取組の1つである「さっぽろ食スタイル(※)」の普及啓発を、食生活改善推進員協議会・食育サポート企業等と連携・協働して実施。 ※さっぽろ食スタイル…ご飯を中心に、北海道産の食材をバランスよく組み合わせた健康的な食事を、買ひ物や調理、後片付け等の環境負荷の低減を考慮して実践する食生活のこと。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/syokuiku/s08hokkaido.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 健康企画課
	さっぽろ食の安全・安心市民交流事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか、農場や工場等を見学し、市民と事業者が意見交換等をする体験学習。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyo/index.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	さっぽろ子ども食品Gメン体験事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか札幌市中央卸売市場、スーパー等を見学して食品衛生監視員の仕事を通して学べる体験学習。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyo/index.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	春の山菜展2018	道内で毎年のように発生している毒草の誤食による食中毒を未然に防ぐための啓発イベントを、道立衛生研究所の薬用植物園にて、同研究所と札幌市保健所の共催により開催。同園の「山菜・毒草コーナー」を開放したほか、山菜と毒草類等の鉢植え及びパネルの展示を実施。2日間で、計1,023名が参加。	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	「さっぽろとれたてっこ」に関する取組	「さっぽろとれたてっこ」認証制度とこれに関連する取組を実施。認証生産者の拡大と市内消費者へのPRを通じ、環境負荷の低減を可能とする農業や、環境に配慮した消費行動を推進。	理解 協働 継承 活用	経済観光局 農業支援センター
	きよたマルシェ	地産地消の推進や清田区の食の魅力を発信することを目的として、10/27に開催。清田区や近郊の農家による農産物販売や、区内飲食店や菓子店が清田野菜を使った軽食やお菓子等を販売。また、札幌の名のつく伝統野菜(札幌大球、札幌白ごぼう、札幌黄等)の販売・PRを実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/marufes/1027/index.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	キッズ・シェフ	子どもたちが、地元で採れる旬な野菜や果物を、自ら収穫し調理することで、地産地消と食べ物のおいしさ・大切さについて学習。(スープカレー:8組18名、リンゴスイーツ:8組17名、小松菜:7組16名が参加)	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
	さっぽろエコスクール宣言「さっぽろっこ環境ウィーク」	エコスクール宣言をした全ての市立幼稚園・学校が、「環境首都・札幌」の宣言日である6月25日の前後2週間において「エコアクション」として環境に関わる取組を重点的に行い、札幌市の幼児児童生徒に環境を守り育てようとする態度を育むとともに、その取組を各園・学校ホームページ等で公表することで市民に対し情報発信することを目的として実施。 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashisuishinzigyou.html	理解 協働 継承 活用	教育委員会 教育課程担当課
ごみ減量	新スリムシティさっぽろ計画の推進	札幌市一般廃棄物処理基本計画「新スリムシティさっぽろ計画」に基づき、環境負荷低減に向けた各種のごみ減量施策を実施。 http://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/newsimplan/	理解 協働 継承 活用	環境局 循環型社会推進課
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	学校給食の調理くずや食べ残しを利用した堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れるという食物の循環の取組を実施。また、小中学校の「フードリサイクル堆肥活用校」(212校)で堆肥を活用した栽培活動等を推進。児童生徒がこの取組を通じ、フードリサイクルの目的や地産地消、食べ物や物の大切さなどについて学習。当該事業に係る関係部局、団体が共通理解を図り円滑な取組を行うことを目的とし「さっぽろ学校給食フードリサイクル」連絡会議を年2回開催。 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html	理解 協働 継承 活用	教育委員会 保健給食課
省エネルギー	環境マネジメントシステム(EMS)の運用	環境マネジメントシステムの運用により、市有施設におけるエネルギー使用量を削減。具体的には、室温管理・窓際照明の消灯やエレベータの間引き運転及び節水等徹底による使用量の削減並びに再生エネルギーの活用等。また、共用車の運転については、環境負荷の少ないエコドライブを実践して燃費の向上。これらの実施に伴い発生する環境負荷(生物多様性の喪失の要因)を低減させることで、生物多様性の保全に間接的に寄与。	理解 協働 継承 活用	全庁
	札幌型省エネルギービジネス創出事業	省エネルギーに関するサービス、人材育成、普及啓発を推進する事業者について、公募を行い、「省エネ相談窓口」を開設する事業者を決定、事業費の補助を実施。省エネに係るビジネスを創出するとともに、市内事業者に省エネ意識の浸透を促進。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/shouene/shouene-business.html	理解 協働 継承 活用	経済観光局 立地促進・ものづくり産業課
	札幌型環境(エネルギー)技術・製品開発支援事業	環境・エネルギー分野(1.省エネルギー、2.創エネルギー、3.蓄エネルギー、4.エネルギーマネジメント、5.これら(1~4)を組み合わせたもの)における新製品・新技術の開発や販路開拓・拡大に関する取組に対し、その経費の一部を補助。	理解 協働 継承 活用	経済観光局 立地促進・ものづくり産業課
	次世代自動車導入促進事業	二酸化炭素排出の少ない次世代自動車への乗換促進を目的に、次世代自動車購入補助制度の運用、燃料電池自動車(FCV)や水素エネルギーに係る市民・事業者への普及啓発を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidouoya_kankyo/fcv.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	自動車環境対策推進事業	自動車から排出される二酸化炭素の低減を目的に、運転シミュレーターやパンフレットを用いた市民への啓発活動、運転診断機材の貸し出しや講習会の開催による事業者のエコドライブ活動支援を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidouoya_kankyo/ecodrive.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	次世代エネルギーシステム導入補助事業	地球温暖化対策として再生可能エネルギーの一つである、間伐材や林地残材などの木材を原料とした木質バイオマス燃料の利用拡大の取組みを推進。 (1) 木質バイオマスストーブ導入補助を実施。 平成30年度実績96台、平成20年度からの累計415台 (2) ペレットストーブの展示会を実施。 平成30年度実績 9月29日(土)~9月30日(日)にジョイフルエーカー 屯田店で開催。 (3) 市有施設へのペレットストーブ、ボイラーの導入を推進。 ・ペレットストーブ 平成30年度は導入施設なし これまでの合計26施設30台 ・ペレットボイラー 平成30年度は導入施設なし これまでの合計17施設19台 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/wood/tenjikai/index.html	理解 協働 継承 活用	環境局 エコエネルギー推進課

生物多様性の基礎知識

札幌市の鳥は、
わたくしカッコウなのです。
生物多様性について
わたくしが解説するッコー

札幌市の生物多様性
PRキャラクター
カッコウ先生



生物多様性とは…

“生き物どうしのつながり”を表す言葉です。

地球上には、約180万種、未知のものも含めると3,000万種とも推定される生き物が存在しています。すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。

このように様々な生き物が存在し、それぞれがつながり合っている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。この生物多様性の喪失は、世界中の生物多様性に依存している私たちの暮らしに大きな影響を与えます。

生態系サービス

私たち人間の命と暮らしは、生物多様性の恵み（生態系サービス）に支えられています。

すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。



生活の糧です

多様な生き物は、食物・衣服・木材・燃料・医薬品など生活に必要な資源として、衣・食・住を支えています。



豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成などに寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の土台となっています。



生活の安全を支えます

豊かな森林生態系は、水を蓄えたり、二酸化炭素を吸収するほか、土砂崩れの防止や防風などの機能を持っています。



生物多様性の危機

今、多くの生き物が、絶滅の危機にあります。

生物多様性は、主に人間活動の影響により、4つの危機にさらされ、急速に失われつつあります。

現在、地球上では自然の速さの1,000倍というスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

第1の危機 ▶▶ 開発や乱獲による危機

開発や乱獲、過剰な採取によって、多くの生物が絶滅の危機に直面しています。

第2の危機 ▶▶ 自然に対する働きかけの減少による危機

人工林や農地の放置等により、里地里山に暮らす動植物が絶滅の危機にあります。

第3の危機 ▶▶ 外来種や化学物質の持ち込みによる危機

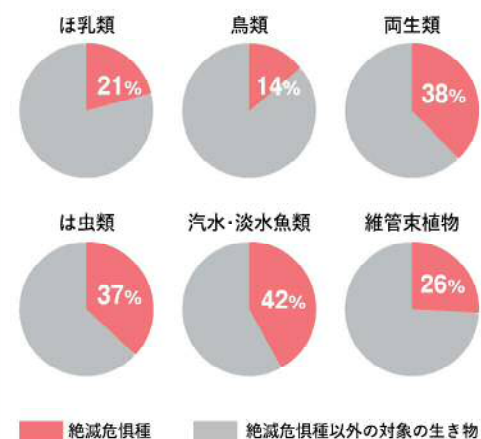
外来種の中には在来種を捕食したり、生息・生育場所を奪ったりするものがあります。化学物質には動植物への毒性をもつものがあります。

第4の危機 ▶▶ 温暖化など地球環境の変化による危機

平均気温が1.5～2.5℃上がると、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。

〈絶滅危惧種の割合〉

絶滅危惧種
3,676種



※環境省レッドリスト2019(環境省, 2019)

生物多様性さっぽろビジョンの進捗管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて、進捗管理を行っています。

指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値 (平成32年度)
理解する	生物多様性の理解度 (意味を知っている人の割合)	33.1%	28.8%	36.6%	33.7%	34.8%	28.6%	33.5%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市民:5.0% 事業者:40.4%	市民:4.4% 事業者:44.4%	市民:— 事業者:64.3%	市民:— 事業者:66.6%	市民:— 事業者:64.5%	市民:3.1% 事業者:58.9%	市民:— 事業者:51.1%	市民:10% 事業者:60% ※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況 ^{※2}	—	—	—	—	—	—	—	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	—	—	—	27.0%	—	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消:65.7% 環境配慮商品:27.4%	地産地消:59.3% 環境配慮商品:25.0%	—	—	—	地産地消:60.7% 環境配慮商品:18.1%	—	地産地消:75% 環境配慮商品:50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.0%	57.5%	69.4%	44.7%	50.0%	59.4%	52.6%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については、平成27年度の目標値。

※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

評価と今後の取組

平成30年度は、「理解する」取組として、指標種や市内で観察できる種をまとめた「さっぽろ生き物ミニ図鑑」を作成し、各種普及啓発イベント等で活用しました。また、生物多様性活動拠点ネットワークを巡って各施設の取組を学ぶバスツアーを開催しました。

「協働する」取組としては、市民参加型の生き物調査「さっぽろ生き物さがし」を実施し、「指標種」の生息・生育情報の収集に努めました。また、「継承する」取組としては、地域住民が身近な自然や環境について考えるきっかけとなるようなパネル展やイベント、外来種駆除体験会等を開催しました。

成果指標については、市民アンケートを行った結果、「生物多様性の理解度」(理解する)は33.5%と前年度より上昇しました。また、企業アンケートを行った結果、「生物多様性の保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)と「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)について平成29年度よりも減少しましたが、後者については平成29年度に引き続き目標値である50%を越えました。

「理解する」については、前年度から上昇しているものの過年度と同様に目標値を下回っており、また、「協働する」「活用する」については前年度から減少していることから、今後は、多くの市民が生物多様性の理解を深める機会を創出する等、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを強化していきます。また、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組も併せて行っていきます。



●編集・発行 令和元年(2019年)9月

札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
TEL 011-211-2879 FAX 011-218-5108



SAPPORO



札幌市 生物多様性 <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/>

